

③「内外リソースの活用」についてお聞きします。

(1) 担任以外の内外の人的資源の活用で効果があると思われるものをお書き下さい。

(記述式)

小学校

豊浦町

- ・養護教諭の性教育、歯みがき指導、健康教育、命に関する授業を行っている
- ・栄養教諭による食育指導
- ・地域の方による音楽指導（お琴体験）
- ・福祉施設との交流活動
- ・漁協との連携による調理体験
- ・クラブ活動において地域の方を講師にお願いし、茶道、華道体験
- ・総合の自然環境についての学習にゲストティーチャー（地域の専門家）を活用している
- ・消防署や、警察署と連携し指導に来校していただき安全教育を推進している

洞爺湖町

- ・各学年、地域の農家の方に「畠の先生」として食育・ふるさとキャリア教育で交流している
- ・養護教諭が、性教育の授業を行っている
- ・栄養教諭が、食育の授業を行っている
- ・学習ボランティア（地域・保護者の登録者）に、家庭科のミシンや習字・お琴など、授業のサポートを行ってもらっている
- ・サクラマスの放流を北海ホテルの方に行っていただいている
- ・洞爺湖音頭保存会の方に運動会の種目：全校洞爺湖音頭の踊り指導を行っていただいている
- ・見守り隊の方に、交通安全教室の講師や登下校を行っていただいている
- ・社会教育の学芸員に、縄文文化等、社会やふるさと学習の講師をしていただいている
- ・中学校的教諭に、出前授業で外国語等を行っていただいている
- ・1・2学年生活科、3・4学年の総合的な学習の時間に、N P O 法人の方を講師として複数回招き、教室での学習と校外学習での体験活動を組み入れた内容を行っている
- ・「花苗植え」に際して、老人クラブの方々に補助いただいている
- ・クラブの時間にスポーツクラブ、パソコンクラブは、地域の方を講師として招いて行っている
- ・全校朝会の合唱のピアノ伴奏者を、地域の方にお願いしている
- ・全校合唱の取組に、声楽家の方に模範を示していただき、指導と共にアドバイスももらっている
- ・水泳学習の際に、地元の水泳教室の指導をしている方に、水に親しむ指導をお願いしている
- ・養護教諭の性指導・食指導

- ・外部講師（劇団員等）による心の授業
- ・町の学芸員の縄文にかかわる授業
- ・マイスターによる火山にかかわる授業。総合的な学習・ふるさと学習で授業を行っている
- ・警察署員による非行防止、薬物乱用防止の授業
- ・人権擁護委員による人権教室
- ・町職員による租税教室
- ・地元漁師によるホタテの学習（地域基幹産業）

壮瞥町

- ・本校は、極小規模校のため、加配を含め管理職2名と一般教諭2名のみの配置となっている。そのため、教育の質の保持及び向上のため、保護者及び地域を学校運営への積極的な参画を促すためにPTCA体制へ移行し、必要に応じて授業等への招聘を行っている。例として挙げられているものは当然行っていることであり、教員の企画力と実行力次第で、いかなる取組も効果があるものとすることができると考える。地域NPO人材の活用

伊達市

- ・総合的な学習での主に環境教育に関わっての外部講師
- ・外国語活動外部講師
- ・手話講座講師
- ・養護教諭による歯科指導・性教育・歯磨き指導
- ・栄養教諭による「食育」指導
- ・地域の警察と連携した薬物乱用教室や不審者対策教室の実施（学級活動）
- ・地域読み聞かせサークルによる読み聞かせ
- ・地域の方を総合的な学習の時間で伝統文化（茶道や踊り）の指導で招いている
- ・地域の農家の方（PTA）に「畠の先生」「田んぼの先生」として、全学年の総合的な学習の時間、生活科で招いている
- ・地域の方が田植えや稻刈り体験の指導を行っている
- ・地域のお年寄りをお招きして、「昔遊び」をおしえてもらっている
- ・地域住民の方に、音楽や軽スポーツなどの指導を依頼し、児童との交流を図っている
- ・ALTを通して、国際理解を目的としたカナダとの交流学習を行っている
- ・放課後学習会、長期休業中の学習会において、保護者及び大学生（学校サポーター事業）を招いている
- ・冬場の歩くスキー学習において、地域の方を技術講師として招いている
- ・各学年が計画的に様々な外部講師を招聘して積極的に活用を図っている
- ・道徳の授業を道徳推進教師が行う
- ・算数科で学習支援ボランティアとして招いている
- ・交通安全教室で交通指導員の方をお招きして、自転車の乗り方を指導していただいている

- ・市内の陶芸家を招いて6年生に「陶芸教室」を行っている
- ・養護老人施設を訪問し、交流している。(低学年・中学年・高学年別)
- ・地元漁協の協力を得て、サケ稚魚放流体験を行っている

登別市

- ・養護教諭が性教育の授業・歯磨き指導
- ・栄養教諭が食育の授業
- ・飲食業者や栄養教諭や養護教諭による食育
- ・通信業者による携帯電話教室
- ・警察による不審者対策教育と薬物乱用防止教室
- ・消防署や公民館の職員による社会科の学習及びキャリア教育
- ・三曲協会による邦楽鑑賞
- ・学級を二つに分け、T Tと担任で算数の習熟度別授業を3~6年で実施
- ・学習支援員による普通学級における特別支援教育的サポート
- ・国語や調べ学習、読書活動での学校図書司書の活用、図書選定の支援(どんな本が適しているかなどをアドバイスしている)
- ・放課後や長期休業中の地域のボランティアによるサポート学習
- ・地域の農業経験者を「畠の先生」として招いた2年生生活科の学習
- ・体育コーディネーターによる体づくり運動や体育授業のサポート
- ・モモンガくらぶの方を総合的な学習の時間の講師として招いている
- ・地域の方を郷土芸能の講師として招いている
- ・社会福祉協議会の方を総合的な学習の時間の講師として招いている
- ・1、2年生の生活科、世代間交流で地域人材を活用している
- ・ALTによる外国語学習を1~4年生で実施している(5・6年生は全時間、外国語活動をALTと担任が協働して実施)
- ・地域学習ボランティアによる「放課後学習塾」と長期休業中の「地域塾」を実施している
- ・マーチングバンド学校応援団による放課後練習を実施している
- ・スキーラーニングで地域の外部人材を活用している
- ・地域の民生委員による人権教室
- ・アイヌ文化協会によるアイヌ文化学習
- ・図書ボランティアによる読み聞かせ
- ・地域の方々とふれあう「世代間交流」
- ・地域の畠の先生による「ふるさと農園」「ふれあい農園」活動
- ・警察官などによる「薬物乱用防止教室」
- ・地域の方々による各種「クラブ活動」
- ・地域のたたら会による「たたら製鉄教室」
- ・キウシトの会による「キウシト自然体験教室」

白老町

- ・地域の方に放課後学習を行ってもらっている
- ・養護教諭が性教育の授業を行っている
- ・地域の方を先生にして、放課後学習を行っている
- ・警察の方を講師に招いた、不審者訓練、薬物乱用防止教室の実施
- ・地域の高齢者大学の方を講師に招いた、昔の遊び教室
- ・町から案内が出る「出前講座」による学習
- ・メディア等との適切な関わり方について講師を招聘し、児童・保護者を対象とした学習会を行っている。等々
- ・教頭がふるさと教育の充実のために、全校児童に統一指導を展開している
- ・地域住民の方を講師に、生活科や総合的な学習の時間に、体験的な学習を行っている

厚真町

- ・警察署の方を講師に「情報モラル教室」を実施（5、6年）
- ・銀行の方を講師に「金融教室」を実施（5年）
- ・税務署の方を講師に「租税教室」を実施（6年）
- ・警察の方を講師に「薬物乱用防止教室」を実施（6年）
- ・交通安全協会の方を講師に「交通安全教室」を実施（1、2年）
- ・警察署の方を講師に「防犯教室」を実施（全児童）
- ・水泳のインストラクターを招いて「水泳の授業」の補助を実施（全学年）
- ・インストラクターを招いて「スケート教室」の補助を実施（全学年）
- ・消防の方を講師に「避難訓練」の実施（全学年）
- ・人権擁護委員の方を講師に「人権教室」の実施（4年）
- ・近隣のA L T を招いて英語活動「厚真プロジェクト」の実施（6年）
- ・町内の農家の方を講師として「稻作体験」を実施（5年）など
- ・専門的知識をもった講師を招聘し、授業を行っている
- ・中学校教員（外国語科）による小学校への乗り入れ授業を実施している

安平町

- ・地域の講師として、学校周辺の自然散策（1年）
- ・役場訪問（2年）
- ・農家見学（3年）
- ・警察・消防の仕事（4年）
- ・陶芸体験（5年）
- ・平和教育（6年）
- ・農家の方を「田んぼの先生」として、5年生の米学習で招いている
- ・町おこし研究所の方を「地域の川の先生」として、4年生の総合的な学習で招いている
- ・町の平和教育マスターを全校道徳の講師として招き、戦争の悲惨さと平和の尊さを知る機会にしている

- ・社会教育と連携した学社融合事業（安平町独自の取組）授業計画から反省まで、外部指導者、学校、社教担当者が一体となって行う仕組み

むかわ町

- ・町職員の栄養士による「食育指導」の授業を全学年で行っている
 - ・町職員の保健師・栄養士、町内の歯科医院の歯科衛生士による歯科保健教室を全学年で行っている
 - ・町内の読み聞かせサークルによる月1回の読み聞かせ活動を行っている
 - ・町内のNPO法人「むーべ」によるコオディネーショントレーニングの実施
 - ・養護教諭の性教育の授業
 - ・地域の住民による農業体験学習・稻作指導
 - ・お年寄りによるしめ縄づくり
 - ・農協職員による地産地消料理指導
 - ・小学校中学校相互の乗り入れ授業（英語授業）
 - ・専門的知識を持った方による授業（税、防犯、ネットモラル等）
 - ・各学年がJA、アイヌ文化協会、地球体験館員等を招いて学習を行っている
 - ・地域の方による図工制作指導
 - ・体育水泳スケート指導
 - ・宿泊的学習の補助
 - ・旧職員による合唱指導
 - ・地域指導者による太鼓指導
 - ・地域婦人部による伝統踊り指導
 - ・人権教室
 - ・警察による防犯教室・交通安全教室
 - ・消防による消火器指導等
 - ・租税教室

小学校

- 養護教諭が性教育・歯磨き指導で、栄養教諭が食育の授業を行っていることがあります。
 - 専門的知識をもった講師が、携帯電話教室や人権教室、租税教室を行っていることがあります。
 - 警察や見守り隊、交通指導員による防犯教室（不審者対策）・交通安全教室を行っていることがあります。
 - 体育科（特に水泳やスケート）で、専門的知識をもった講師を活用しています。
 - 外国語活動においてALTを活用したり、小中連携で、中学校の英語教諭が出前授業（乗り入れ授業）を行ったりしています。

中学校

豊浦町

- ・保健師による性教育
- ・養護教諭による喫煙防止教室
- ・携帯電話業者によるネットトラブル防止教室

洞爺湖町

- ・栄養教諭が食育の授業を行っている
- ・事務職員が防災教育の講師を務めている
- ・地域の農家の方が地域の特産物であるジャガイモの講師として、2年生の総合的な学習で招いている
- ・ふるさと環境防災教育（ジオパーク推進課、企画防災課、火山マイスター）
- ・地域人材による講演や授業（警察、携帯会社、薬物、医院、栄養教諭、歯科医、地域、税務署、高校の先生、保健師等）

壮瞥町

- ・性教育は町の保健師が担当
- ・1年生の総合学習で地域の農家と連携と連携し、自然体験学習
- ・1年生の総合学習で「いきものいんく」
- ・2年生の職業体験で地域の商業関係者に受け入れ
- ・2年生の総合学習で地域の商業関係者に質問
- ・2年生の技術（栽培）で壮瞥高校
- ・3年生の総合で火山マイスター
- ・武道の授業で、地域の剣道指導者
- ・交通安全教室・安全安心教室で警察
- ・避難訓練で消防・自衛隊
- ・人権教室で人権擁護委員協議会

伊達市

- ・警察署員の方を講師として招き、身近な生活に潜む危険についての講話を実施している
- ・保健所の方を講師として招き、がん教育にかかる授業を3年生保健で行っている
- ・養護教諭が性教育の授業を行っている
- ・退職教員・退職教育長がサポーターとして、教育活動の支援をしてくださる
- ・携帯電話会社の方を講師として招き、携帯電話やスマートフォンの適切な使い方についての講話を実施している
- ・ノルディックスキーの授業で講師として地域の方を招いている

登別市

- ・地域の方々を図書ボランティアとして活用
- ・教員全員によるローテーション道徳の実践
- ・副担任が道徳の授業を行っている
- ・外部講師による全校道徳授業、ヒップホップダンス講座、ケータイ・スマートフォン教室、警察署員による薬物乱用防止教室、海星学院生による震災ボランティア報告会
- ・保健師による思春期教室～妊娠疑似体験～、性教育
- ・北海道消費者センター職員による消費者教育
- ・消防の方から救命救急
- ・警察の方から情報教育・薬物乱用・生命尊重
- ・地域教育協議会より、田植え、花壇作り
- ・図書ボランティアによる、読書の普及に向けた環境整備
- ・地域の方による茶道教室、避難訓練
- ・地域包括支援センターによる認知症サポート講座
- ・総合的な学習の時間で、ふるさと学習の一環で、1年生は郷土資料館館長に、2年生は登別市観光協会の方に講師を依頼し行っている
- ・3年生の性教育で、登別市の保健師さんに講師を依頼し行っている
- ・図書ボランティアさんに図書館の整備や読み聞かせを行ってもらっている
- ・消防署員による救命救急講習

白老町

- ・地域コーディネーターとの連携による地域人材の活用
- ・養護教諭の性教育
- ・生徒指導部長の全校集会等での生活安全等に係る講話
- ・警察職員による防犯教室
- ・ハローワーク職員等によるキャリア講話
- ・ゲストティーチャーによる全校道徳
- ・町の栄養教諭による「食の授業」
- ・町保健師による「がん教育」
- ・助産師または保健師による「性教育講演会」
- ・町高齢者福祉担当者による「認知症サポーター養成講座」

厚真町

- ・医師、保健師など
- ・養護教諭が性教育で外部講師の調整を行っている
- ・総合的な学習の時間の福祉学習において、町福祉課の職員を講師として招いている
- ・進路学習においても、地域の事業所に依頼し、職業体験を行っている

安平町

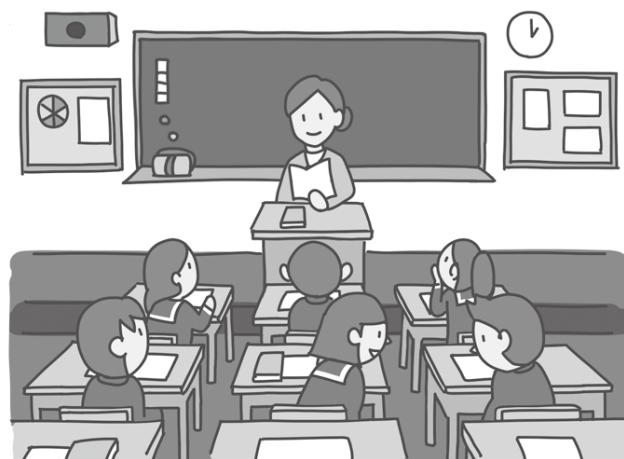
- ・早来小より栄養教諭を招き食の指導
- ・ダルクを招いた薬物乱用防止講座
- ・退職人材等外部講師を活用した数学科習熟度別授業でのT.T指導(特に下位層グループ)

むかわ町

- ・中高連携を実施しているので、高校の先生が授業する日が年間で16日ほどある
- ・体験学習で平取養護学校の先生が2回来校し、手話・点字の講座を実施している
- ・薬物乱用防止教室を実施する際、外部講師をお招きしている
- ・性教育の授業(対象:第3学年、担当:第3学年・養護教諭、指導:助産師)
- ・安全指導教室の実施(対象:全学年、担当:生徒指導部、指導:NPO法人お助けネット代表)
- ・キャリア教育におけるインタビューフォーラム(対象:全学年、担当:教頭、協力:町内の農業・商工・まちづくり関係者)
- ・高校・高専説明会(対象:第2・3学年、担当:進路指導主事、協力:近隣市町の高校・高専)

中学校

- 養護教諭や助産師・保健師が性教育を行っていることがあります。
- 携帯電話会社の方を講師として、携帯電話教室を行っています。
- 警察やNPO法人の方を講師として安全指導教室(防犯・薬物乱用防止等)を行っています。



(2) どのような教育活動で地域の物的資源を活用していますか。(記述式)

小学校

豊浦町

- ・地域のお店体験
- ・公民館、消防署などの地域にある公共施設の活用
- ・海浜公園でのマラソン記録会の実施
- ・学校行事の中で地域のジオパーク見学の実施
- ・社会科の消防署見学
- ・総合的学習で、「漁業体験」や「稻作体験」、「遺跡発掘体験」を実施

洞爺湖町

- ・町役場
- ・洞爺湖ビジターセンター
- ・洞爺湖美術館や郷土資料館を、社会や総合的な学習・ふるさと学習で活用している
- ・消防署・駐在所・給食センター等を、社会や生活科・総合的な学習で活用している
- ・火山博物館を、理科や総合的な学習で活用している
- ・有珠山や西口火口散策道等を、遠足やふるさと学習で活用している
- ・洞爺湖畔を総合的な学習や、マラソン大会（行事）で活用している
- ・老人施設（デイサービス訪問施設）を、総合的な学習や生活科で活用している
- ・総合的な学習の時間に、地域の自然環境（里山・ジオパーク）を活用している

壮瞥町

- ・単元の目標を達成できるよう、例として挙げられているもののように必要に応じて地域の施設や環境を利用している
- ・生活科国語科での図書館指導
- ・総合的な学習での環境センター

伊達市

- ・地域コミュニティーセンターの活用
- ・校区内にある川や森を題材にした環境教育、自然や地域との交流学習
- ・校区内にある北黄金貝塚を活用した学習（総合的な学習）
- ・カルチャーセンターを社会科や生活科、総合的な学習の時間で活用している
- ・社会科で伊達市消防署（防災センター）、長和駐在所、洞爺湖ビジターセンター、火山科学館、北黄金浄水場、メルトタワー、北海道製糖工場、噴火湾文化研究所、室蘭民報社、新日鉄、ポスフル（伊達支店）、北海道栽培漁業振興公社伊達事業所を活用している
- ・生活科で、伊達市立図書館、オロフレスキーフィールド、コンビニエンスストア、地域家具店、地域自動車販売所、地域仏壇店、地域コミュニティーセンターを活用している
- ・図工科で、地域のお寺、消防署、近隣幼稚園（動物）

- ・学校行事（宿泊学習）でふれあいと鉱山
 - ・各学年が、福祉施設を訪れ、人とのふれあいを目的とした交流学習を行っている
 - ・主に生活科や総合的な学習の時間の学習で地域の様々な施設を活用している
 - ・国語の授業で図書館の活用
 - ・図工（写生会）での建物、乗り物、生き物などの素材提供
 - ・市立図書館を活用している
 - ・地域施設などを写生会の題材としている
 - ・4年生が防災センターを社会科で活用している
 - ・防災センターを社会の学習で活用している
 - ・スーパーマーケットを家庭科の学習で活用している
 - ・公園を生活科の学習で活用している
 - ・遊歩道などを社会科の学習で活用している
 - ・写生会で、カルチャーセンターや迎賓館などを活用している
 - ・カルチャーセンターの坂を利用して、雪遊びをしている
 - ・発電所を総合の学習で活用している
 - ・地域にある善光寺・バチエラー教会・消防署などの施設を写生会や歴史的資料として図工や総合で活用している
 - ・伊達市の黎明館において藍染め体験（1～4年）を行っている

登別市

- ・3年生の総合的な学習の時間でキウシト湿原を活用
 - ・3年生の社会科で郷土資料館、登別温泉のホテルを活用
 - ・4年生の社会科でクリンクルセンター、消防署、浄水場、白老アイヌ博物館を活用
 - ・5年生の宿泊学習でふぉれすと鉱山を活用
 - ・低学年の生活科で亀田公園を活用
 - ・パロマ工場（社会科3年）
 - ・公民館
 - ・しんた21を総合的な学習の時間で活用している
 - ・1、2年生の生活科、世代間交流で地域人材を活用している
 - ・総合的な学習の時間で、銀のしづく記念館を活用している
 - ・体育のスキー学習で、サンライバスキーフィールドを活用している
 - ・社会科で温泉入浴体験として、ホテルの温泉を活用している
 - ・生活科「まちたんけん」や6年生のキャリア教育における校区内の店舗、郵便局や図書館、消防署など公的施設の活用
 - ・下水処理場を総合的な学習に活用
 - ・大型スーパー（店舗）を生活科の学習に活用
 - ・学校に隣接している牧場を低学年・体育科で活用（予定）

白老町

- ・アイヌ民族博物館を利用してのふるさと体験学習
- ・ポロト湖を利用したスケート学習
- ・萩の里公園等を生活科や総合的な学習で活用している

厚真町

- ・総合的な学習の時間、クラブ活動に、地域にある施設（田、工場等）を活用している

安平町

- ・工場見学（3年）
- ・下水処理場等の公共施設
- ・農家見学安平川、田んぼ、子ども園の園庭、陽光苑（福祉施設）、鉄道資料館等を総合的な学習で活用している
- ・どんぐりの森、商店街等を生活科で活用している
- ・公民館、役場、郷土資料館を社会科で活用している

むかわ町

- ・近隣農家で校外学習、水田での稻作授業
- ・学校近くの炭焼き小屋を活用しての総合学習の実施。博物館の協力による恐竜化石の発掘・施設見学授業
- ・ペレット工場見学
- ・水産加工場見学
- ・公共施設の見学
- ・クラブ講師・読み聞かせの実施

小学校

- 西胆振では、洞爺湖ビジターセンター、火山科学館等を利用してしています。
- 登別ではスキー学習でサンライバスキー場を、白老ではスケート学習でポロト湖を利用しています。
- 東胆振では、近隣農家の稻作体験を行うことがあります。

中学校

豊浦町

- ・スキースクールでの地元スキー場の利用
- ・職場体験での町内事業所の利用
- ・福祉体験学習での町内グループホームの利用

洞爺湖町

- ・地域の事業所を総合的な学習の時間（地場産業体験学習や職業体験学習）で活用している
- ・高齢者福祉施設を総合的な学習の時間（福祉体験学習）で活用している
- ・職業体験における校区内の事業所等
- ・総合的な学習における洞爺湖有珠ジオパーク
- ・近隣高校での部活動、総合的な学習におけるふるさと学習

壮瞥町

- ・有珠山～3年生総合
- ・室蘭工業大学～3年生総合
- ・壮瞥高校～1年生総合
- ・地域交流センター「山美湖」～学校祭
- ・町営プール～全学年体育「水泳」

伊達市

- ・地域の企業や営業所等を2年生総合的な学習の時間で活用している（職業体験）
- ・職業見学・体験で地元企業を総合的な学習の時間で活用している
- ・多くの（3か所以上）福祉施設を総合的な学習の時間で活用している
- ・2年生職業体験学習で、地域の事業所に協力依頼をしている

登別市

- ・ふれすと鉱山での1学年自然体験学習（総合的な学習の時間）
- ・2学年職業体験における受け入れ企業の依頼
- ・「炊事学習」ふれすと鉱山で自然体験（1年）
- ・「職場体験」地域の企業約25社（2年）
- ・「職場訪問」新日鉄住金・陸上自衛隊幌別駐屯地（1年）
- ・郷土資料館を組合的な学習の時間で活用
- ・田んぼをお借りして田植え、稻刈り体験
- ・陸上競技場をお借りして陸上記録会
- ・総合的な学習の時間で、地域探索をしており、地域の事業所を活用させてもらっている
- ・洞爺湖ジオパークを総合的な学習（見学学習）の時間で活用している
- ・近隣の保育園を保育学習（家庭科）で活用している

- ・校区内の事業所を活用したキャリア教育（職業体験）

白老町

- ・町内水産加工場や和牛牧場等事業所を総合的な学習の時間で活用
- ・長期休業中の体験講座
- ・職場体験
- ・行事における地域人材の協力
- ・1年生「ふるさと学習」として、総合的な学習の時間に「アイヌ民族博物館」を利用している
- ・2年生「職場体験学習」として、総合的な学習の時間に町内の各事業所を活用させていただいている
- ・3年生「高校体験入学」として、総合的な学習の時間に、「北海道白老東高校」を活用させていただいている

厚真町

- ・家庭科の保育実習で地域の子ども園を訪問
- ・地域の自然環境（沼等）を総合的な学習の時間で活用している

安平町

- ・体育では、町内のプールを活用した水泳授業、スキー授業では町内のスキー場を活用している
- ・総合的な学習の時間では、地域の事業所の支援を受けている（職業体験）
- ・食育における、給食センターの活用
- ・カヌ一体験学習における、地域ダム湖の活用

むかわ町

- ・キャリア教育における穂別博物館・地球体験館の活用

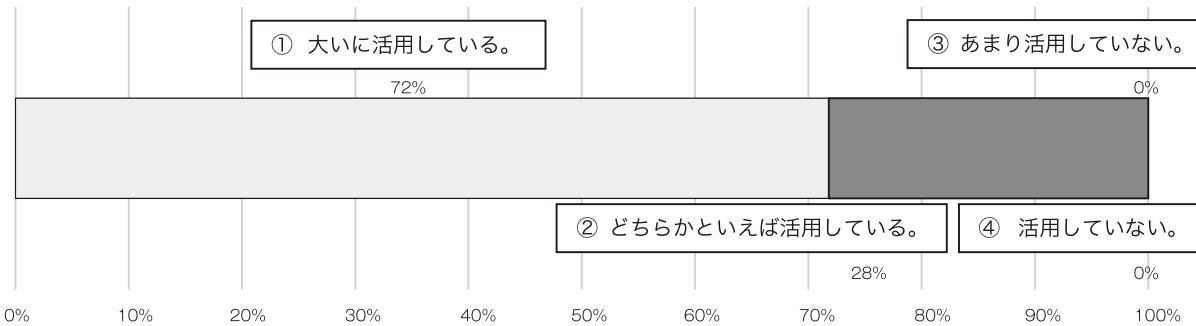
中学校

- キャリア教育で、地域の事業所や施設を多く利用していることが分かります。
- 中高連携で、地域の高校で総合的な学習を行ったり、体験入学を行ったりすることが多いことが分かります。

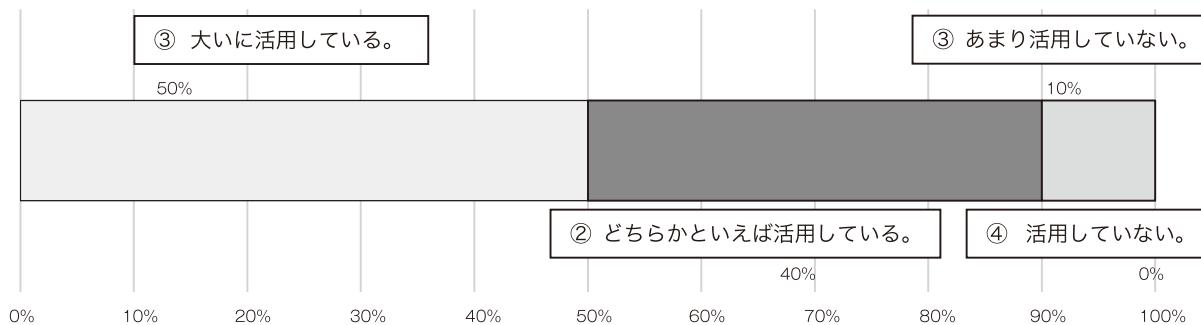
(3) 自校では人的・物的資源をどのくらい活用していますか。

- ① 大いに活用している。 ② どちらかといえば活用している。
③ あまり活用していない。 ④ 活用していない。

自校では人的・物的資源をどのくらい活用していますか。
(小学校)



自校では人的・物的資源をどのくらい活用していますか。
(中学校)



- 小学校では、「大いに活用している」「どちらかといえば活用している」のどちらかの回答です。
○ 中学校では、「大いに活用している」「どちらかといえば活用している」の回答が9割です。